

1

次の取引の仕訳を示しなさい。ただし、商品に関する勘定は3分法によること。

- a. 福岡商店に商品 ¥300,000 を売り渡し、代金は掛けとした。なお、発送費 ¥15,000 は現金で支払った。
- b. 現金の実際有高を調べたところ ¥125,000 であり、帳簿残高 ¥129,000 と不一致であった。よって、帳簿残高を修正してその原因を調査することにした。
- c. 帳簿価額 ¥9,000,000 の建物を ¥7,200,000 で売却し、代金は小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。
- d. 佐賀商店に対する買掛金の支払いとして、さきに得意先長崎商店から受け取っていた約束手形 ¥450,000 を裏書譲渡した。
- e. 売買目的で熊本商事株式会社の額面 ¥2,000,000 の社債を額面 ¥100につき ¥97 で買い入れ、代金は買入手数料 ¥20,000 とともに、小切手を振り出して支払った。
- f. 本月分の給料 ¥850,000 の支払いにあたり、所得税額 ¥68,000 を差し引いて、従業員の手取額を現金で支払った。

2

高知商店の下記の取引について、

- (1) 仕訳帳に記入して、総勘定元帳の買掛金勘定に転記しなさい。
- (2) 仕入帳・買掛金元帳に記入して、締め切りなさい。

ただし、i 商品に関する勘定は3分法によること。

ii 仕訳帳の小書きは省略する。

iii 元丁欄には、買掛金勘定に転記するときだけ記入すればよい。

取 引

1月 7日 徳島商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。

A 品	400個	@¥500	¥200,000
B 品	600個	〃 〃 700	¥420,000

9日 徳島商店から仕入れた上記商品の一部に品違いがあったので、次のとおり返品した。なお、この代金は買掛金から差し引くことにした。

A 品	10個	@¥500	¥ 5,000
-----	-----	-------	---------

16日 香川商店に対する買掛金の一部について、次の小切手#8を振り出して支払った。

HA0008	小 切 手	高 知 3901 0149-039
支払地	高知県高知市一宮徳谷23-1	
株 式 会 社	全商銀行高知支店	
金 額	¥150,000	
高 知	上記の金額をこの小切手と引き替えに 持参人へお支払いください	高知県高知市大谷6 高 知 商 店
平 成 ○ 年 1 月 16 日		振 出 人 高 知 一 郎
振出地	高知県高知市	

24日 愛媛商店に次の商品を売り渡し、代金のうち ¥280,000 は同店振り出しの小切手#11で受け取り、残額は掛けとした。

A 品	200個	@¥650	¥130,000
B 品	300個	〃 〃 900	¥270,000

29日 香川商店から次の商品を仕入れ、代金のうち ¥100,000 は現金で支払い、残額は掛けとした。

C 品	700個	@¥300	¥210,000
-----	------	-------	----------

3九州商店の次の取引を入金伝票・出金伝票・振替伝票のうち、必要な伝票に記入しなさい。ただし、不要な伝票は空白のままにしておくこと。

取引
1/月/7日 宮崎商店から借用証書によって借り入れていた ¥600,000 を小切手#5を振り出して返済した。
(伝票番号 No. 10)
2 日 日南郵便局で郵便切手 ¥9,000 を買い入れ、代金は現金で支払った。(伝票番号 No. 12)

4 次の各問いに答えなさい。
(1) 大分商店は、下記の取引を移動平均法によって商品有高帳に記帳している。よって、
a. (ア) に入る金額を求めなさい。
b. (イ) と (ウ) に入る金額の組み合わせとして正しいものを次のなかから選び、その番号を記入しなさい。
1. (イ 840 ウ 800 2. (イ 840 ウ 820 3. (イ 820 ウ 810 4. (イ 820 ウ 800

取引
1/月 6日 柳川商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。
B 品 100個 @¥840 ¥84,000
1/5日 博多商店に次の商品を売り渡し、代金は掛けとした。
A 品 220個 @¥750 ¥165,000
1/8日 柳川商店から次の商品を仕入れ、代金は掛けとした。
B 品 150個 @¥800 ¥120,000

商 品 有 高 帳										
(移動平均法)										
		品 名			A 品			単位 個		
平成 〇年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
1/1	前月繰越	280	650	182,000				280	650	182,000
1/5	博多商店				()	()	(ア)	()	()	()

(移動平均法)										
品 名										
B 品										
単位 個										
平成 〇年	摘 要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金 額	数量	単価	金 額	数量	単価	金 額
1/1	前月繰越	50	780	39,000				50	780	39,000
1/6	柳川商店	()	()	()				()	(イ)	()
1/8	柳川商店	()	()	()				()	(ウ)	()

- (2) 次の文の [] のなかに、適当な金額を記入しなさい。
沖縄商店の期首の資産総額は ¥3,840,000 であり、期末の資産総額は ¥4,260,000 負債総額は ¥1,650,000 であった。なお、この期間中の費用総額は ¥7,600,000 当期純利益が ¥510,000 であるとき、収益総額は [ア] で、期首の負債総額は [イ] である。
- (3) 次の各文の [] のなかに、下記の語群のなかから、もっとも適当なものを選び、その番号を記入しなさい。
a. 合計試算表の借方合計金額と貸方合計金額は、必ず一致する。これは [ア] によるものであり、複式簿記の大きな特徴の一つである。
b. 企業の経営活動は継続的に営まれているので、財政状態や経営成績を明らかにするためには、経営活動を一定の期間に区切る必要がある。この区切られた期間を [イ] という。
1. 会 計 期 間 2. 決 算 3. 貸借対照表等式 4. 貸借平均の原理 5. 会 計 単 位

5 鹿児島商店（個人企業 決算年/回 1/2月3/日）の総勘定元帳勘定残高と決算整理事項は、次のとおりであった。よって、
(1) 決算整理仕訳を示しなさい。
(2) 繰越商品勘定と給料勘定に必要な記入をおこない、締め切りなさい。なお、勘定記入は日付・相手科目・金額を示すこと。
(3) 貸借対照表を完成しなさい。

元帳勘定残高					
現 金	¥ 587,000	当 座 預 金	¥2,306,000	売 掛 金	¥3,100,000
貸 倒 引 当 金	28,000	繰 越 商 品	790,000	前 払 金	145,000
備 品	360,000	支 払 手 形	800,000	買 掛 金	2,098,000
借 入 金	500,000	資 本 金	3,500,000	引 出 金	160,000
売 上	8,570,000	受 取 手 数 料	128,000	仕 入	6,065,000
給 料	1,368,000	支 払 家 賃	480,000	水 道 光 熱 費	113,000
消 耗 品 費	75,000	雑 費	60,000	支 払 利 息	15,000

- 決算整理事項
a. 期末商品棚卸高 ¥820,000
b. 貸倒引当金 売掛金残高の3%とする。ただし、差額を計上する方法によること。
c. 備品減価償却高 取得原価 ¥540,000 残存価額は零 (0) 耐用年数は6年とし、定額法により計算し、直接法で記帳している。
d. 引出金勘定の ¥160,000 は整理する。

1

	借方	貸方
a		
b		
c		
d		
e		
f		

2 (1)

仕 訳 帳

1

[illegible]

帳 元 定 勘 総

金 掛 買

14

[illegible]

(2) (注意) 仕入帳・買掛金元帳は締め切ること。

仕 入 帳

1

[illegible]

帳 元 金 掛 買

德島商店

1

[illegible]

香 川 商 店

2

平成 〇年	摘要	借方	貸方	借 は また 貸	残高
/ /	前月繰越		270,000	貸	270,000

試 験 場 校

受 験 番 号

3 級の 1 得点

3

入金伝票		No. _____
平成○年 月 日		
科目	入金先	殿
摘要	金額	
合計		

出金伝票		No. _____
平成○年 月 日		
科目	支払先	殿
摘要	金額	
合計		

振替伝票				No. _____
平成○年 月 日				
勘定科目	借方	勘定科目	貸方	
合計		合計		
摘要				

4

(1)	a	b	(2)	ア	イ	(3)	ア	イ
	¥			¥	¥			

5

(1)	借方	貸方
a		
b		
c		
d		

- (2) (注意) i 給料勘定の記録は、合計額で示してある。
ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

繰越商品	5	給料	16
1/1 前期繰越	790,000		1,368,000

- (3) 貸借対照表
平成○年/2月3/日

資 産	金 額	負債および純資産	金 額
現 金		支 払 手 形	
当 座 預 金		買 掛 金	
売 掛 金 ()		()	
貸 倒 引 当 金 ()		資 本 金	
()		()	
前 払 金			
備 品			

試験場校	受験番号

3級の2得点

総得点

1		借	方		貸	方
	a	売 掛 金	300,000	売 上	300,000	
		発 送 費	15,000	現 金	15,000	
	b	現 金 過 不 足	4,000	現 金	4,000	
	c	当 座 預 金	7,200,000	建 物	9,000,000	
		固 定 資 産 売 却 損	1,800,000			
	d	買 掛 金	450,000	受 取 手 形	450,000	
	e	有 価 証 券(または売買目的有価証券)	1,960,000	当 座 預 金	1,960,000	
	f	給 料	850,000	所 得 税 預 り 金	68,000	
				現 金	782,000	

2 (1)		仕 入 帳				1
平成 〇年	摘 要	平 子	借 方	貸 方		
/ /	前期繰越高	✓	6,780,000	6,780,000		
7	(仕 入)		620,000			
	(買 掛 金)	14		620,000		
9	(買 掛 金)	14	5,000			
	(仕 入)			5,000		
16	(買 掛 金)	14	150,000			
	(当 座 預 金)			150,000		
24	諸 口 (売 上)			400,000		
	(現 金)		280,000			
	(売 掛 金)		120,000			
29	(仕 入) 諸 口		210,000			
	(現 金)			100,000		
	(買 掛 金)	14		110,000		

総 勘 定 元 帳										14			
買 掛 金													
平成 〇年		摘 要		仕 子	借 方		平成 〇年		摘 要		仕 子	貸 方	
1	9	仕 入		1	5,000		/	/	前期繰越		✓	520,000	
	16	当座預金		〃	150,000			7	仕 入		1	620,000	
								29	仕 入		〃	110,000	

(2) (注意) 仕入帳・買掛金元帳は締め切ること。

		仕 入 帳				1
平成 〇年	摘 要	内 訳		金 額		
1 7	徳島商店 掛け					
	A 品 400個 @¥500	200,000				
	B 品 600〃 〃〃700	420,000		620,000		
9	徳島商店 掛け戻し					
	A 品 10個 @¥500			5,000		
29	香川商店 現金・掛け					
	C 品 700個 @¥300			210,000		
31	総仕入高			830,000		
〃	仕入戻し高			5,000		
	純仕入高			825,000		

買 掛 金 元 帳

		徳 島 商 店				1
平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借 また 貸 は 貸	残 高	
/ /	前月繰越		250,000	貸	250,000	
7	仕 入 れ		620,000	〃	870,000	
9	仕入戻し	5,000		〃	865,000	
31	次月繰越	865,000				
		870,000	870,000			

		香 川 商 店				2
平成 〇年	摘 要	借 方	貸 方	借 また 貸 は 貸	残 高	
/ /	前月繰越		270,000	貸	270,000	
16	支 払 い	150,000		〃	120,000	
29	仕 入 れ		110,000	〃	230,000	
31	次月繰越	230,000				
		380,000	380,000			

3

入金伝票						No. _____	
平成○年 月 日							
科目		入金先	殿				
摘要			金額				
合 計							

出 金 伝 票				No. 12			
平成○年 1 月 17 日							
科目	通 信 費		支払先	日 南 郵 便 局 殿			
摘 要				金 額			
郵便切手買い入れ						9	0 0 0
合 計						9	0 0 0

振替伝票						No. 10	
平成○年 1 月 17 日							
勘 定 科 目		借	方	勘 定 科 目		貸	方
借 入 金		6	0 0 0 0 0 0	当 座 預 金		6	0 0 0 0 0 0
合 計		6	0 0 0 0 0 0	合 計		6	0 0 0 0 0 0
摘要	宮崎商店に借入金を返済 小切手#5						

4

(1)	a	b	(2)	ア	イ	(3)	ア	イ
	¥ 143,000	3		¥ 8,110,000	¥ 1,740,000		4	1

5

(1)	借	方	貸	方
a	仕 入	790,000	繰 越 商 品	790,000
	繰 越 商 品	820,000	仕 入	820,000
b	貸 倒 償 却	65,000	貸 倒 引 当 金	65,000
c	減 価 償 却 費	90,000	備 品	90,000
d	資 本 金	160,000	引 出 金	160,000

- (2) (注意) i 給料勘定の記録は、合計額で示してある。
ii 勘定には、日付・相手科目・金額を記入し、締め切ること。

繰 越 商 品				5
1 / 1 前期繰越	790,000	12 / 31 仕 入	790,000	
12 / 31 仕 入	820,000	〃 次期繰越	820,000	
	1,610,000		1,610,000	

給 料				16
	1,368,000	12 / 31 損 益	1,368,000	

(3)	貸 借 対 照 表			
	鹿児島商店			
	平成○年 / 2 月 3 / 日			
資 産	金 額	負 債 お よ び 純 資 産	金 額	
現 金	587,000	支 払 手 形	800,000	
当 座 預 金	2,306,000	買 掛 金	2,098,000	
売 掛 金 (3,100,000)		(借 入 金)	500,000	
貸 倒 引 当 金 (93,000)	3,007,000	資 本 金	3,340,000	
(商 品)	820,000	(当 期 純 利 益)	397,000	
前 払 金	145,000			
備 品	270,000			
	7,135,000			7,135,000

(貸倒償却は、貸倒引当金繰入でもよい。)